

事業活動実績報告書

施設名	やくし幼稚園
教育理念	自ら考え行動する子どもたちの育成
事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	英語に親しみながら、日本の文化に触れる
2 実施期間	令和 6年 4月 18日 ～ 令和 7年 3月 14日

3 取組概要	(取組日) 令和6年 4月 18日 ～ 令和6年 4月 30日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	テーマ 数字、挨拶、色、花まつり、こいのぼり 基本表現 I like color.(好きな色の表現) 歌 Alphabet,Seven Steps,Hello,Good-Bye,Rainbow Song 最初は緊張した面持ちであったが、時間が経つにつれ、笑顔で英語楽しい！と過ごせるようになった。挨拶、アルファベット、数字、動詞に触れ、英語で過ごすことに慣れていってもらった。4月8日は花まつりであり、お釈迦様の誕生日を英語で祝うこともできた。	
	(取組日) 令和6年 5月 1日 ～ 令和6年 5月 31日	
3 取組概要	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	テーマ 動物 基本表現 I like animals.(動物の言い方) 歌 BINGO Waking Walking 動物のテーマは子どもたちにとって興味深く、親しみやすいテーマであった。遠足をとりあげ、英語での動物の表現を楽しく触れていくことができた。	
	(取組日) 令和6年6月1日 ～ 令和6年 6月 28日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
3 取組概要	テーマ 天気、梅雨 基本表現 It's (weather). How is the weather? 天気のいい方、どんな天気か質問できる 歌 Rain,Rain, Go Away 日本の雨期「梅雨」にちなんで、天気の表現にふれた。天気は子どもたちにとっても身近なテーマのため、積極的に発言することにつながった。	
	(取組日) 令和6年 7月 1日 ～ 令和6年 8月 31日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	テーマ 形、七夕、盆踊り 基本表現 What's this? It's (shape). 形の言い方。 歌 Shape Song 七夕飾りに用いる折り紙や、画用紙でさまざまな形をしり、英語での表現に触れていった。盆踊りでは、円になって踊ることや、盆踊りの英語表現にも触れていった。	

3 取組概要

3 取組概要	(取組日) 令和6年 9月 2日 ～ 令和6年 9月 30日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 運動会、からだ、月見 基本表現 Touch your ().(体の部位の言い方) 歌 Head and Sholders 運動会の季節を迎え、体を動かすことが多くなった子どもたちに意識的に体の部位について、触れていってもらった。また運動会は日本独自のイベントであること、運動会の練習でも体について意識しながら過ごせるように促した。	
	(取組日) 令和6年 10月 2日 ～ 令和6年 10月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 乗り物 基本表現 It's a (car). (乗り物の言い方) 歌 The Wheels on the Bus. 乗り物は世界共通のものが多く、また子どもたちの身近なテーマであったため、取り組みをしやすかった。バスのように英語と日本語での表現が類似しているものから、そうでないものまで幅広く触れることができた。	
	(取組日) 令和6年 11月 5日 ～ 令和6年 11月 29日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 果物、野菜、七五三 基本表現 Here you are. Thank you. 果物、野菜の表現の仕方、物を渡すときの言い方 歌: The wh Apples and Bananas, Head ,Shoulders 七五三バージョン 勤労感謝の日にちなみ、以前触れた職業のなかで八百屋さんや青果店にスポットを当てる。七五三の行事の意味や由来を知る。	
	(取組日) 令和6年 12月 2日 ～ 令和6年 12月 25日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 正月準備、果物、野菜 基本表現 It's a (). 果物、野菜の表現の仕方、 歌: Apples and Bananas もうすぐお正月を迎えることに触れ、正月準備の中で、食べ物や果物に触れていく。英語でも osech(おせち料理)のようにそのまの表現でもよいことを知る良い機会となる。	
	(取組日) 令和7年 1月 9日 ～ 令和7年 1月 31日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること テーマ 正月、職業 基本表現 Happy new year! I want to be -----. 「～になりたい」の言い方。 歌 If you're happy and you know it, say Happy New Year! テーマは「職業」について。様々な職業を英語で知ること为目标とする。力士や歌舞伎役者など日本ならではの職業にも触れていく。	
	(取組日) 令和7年 2月 1日 ～ 令和7年 3月 14日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 基本表現 I am wearing-----. 「～を着ています」の言い方。 歌 What are you wearing? 衣類について触れていく。日常生活で着用しているアイテムを楽しみながら、表現をする。園内のひな人形についても観察し、日本の着物について知り、英語で表現してみる。	

効果検証報告書

施設名	やくし幼稚園		
教育理念	自ら考え行動する子どもたちの育成		

事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現		
1 事業名	英語に親しみながら、日本の文化に触れる		
2 事業概要	従来より行っている英語教室に日本の文化に慣れ親しむカリキュラムを加え。英語に親しみながら日本文化のほか、年中行事に触れる。		

計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 <u>日本の文化に理解、経験のある日本語、英語のバイリンガルの講師2名</u> 日本人の担任教諭、活動内容に応じて幼稚園教諭を補充する。アクティビティを行える十分な広さの保育室、園庭。
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 通年にてバイリンガルの講師2名での運営と行うことができた。2名の講師は、英語を母国語とし、人種もそれぞれ異なる人材で、園内に外国人の講師がいる環境を作ることができた。また子どもたちもそのことにすぐになれることができた。

計画時	4 事業のねらい	「英語が勉強になる前に」というポリシーの英語教室において、英語を身につけるだけでなく、子どもたちが親しんでいる日本の文化や慣習、年中行事を知り、英語で表現することで、幼いころからグローバルな人材の育成を目指す。英語の表現を知ること、日本語での気づきや興味関心を深めるきっかけとなる。
	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 「英語が勉強になる前に」というポリシーに則って、子どもたちは英語に対して興味関心が大きく、毎回のレッスンを楽しみにしていた。スペリングなどの知識にとらわれず、身近な事象や年中行事をテーマにしたレッスンの中で、ロールプレイやゲームなどで積極的に発言や聞き取りができるようになった。

5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 講師(外国人、日本人)の確保 教材の選定と更新(やくし幼稚園独自のカリキュラム設定) <u>端午の節句、梅雨、七夕、盆踊り、月見、運動会、七五三、正月、節分といった日本文化や慣習、年中行事を知り、英語での表現を身につけることによって、日本と世界との垣根をとりはらう。</u> 毎週木曜日に活動を行い、1クラスずつの少人数レッスンを行う。 <u>昨年度は保育室での活動が主となっていたが、保育室での活動のほかに、園内の伝統行事の関連設備におもむいてみたり、園庭で自然に触れたりして季節感を感じながら、英語に親しんでいく。</u> <u>園で取り組んでいる伝統行事や年中行事に積極的に関わりを持つようにする。</u> 参観日を設定し、園児だけでなく保護者などにも取り組みを周知する。
---------	--

事業後

5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 外国人講師も日本滞在歴が長いので、日本の伝統的文化に親しみを持っており、子どもたちとの関わりで不自然なことはなかった。伝統文化について保育室を出てレッスンをすることも増やせた。この日にちなんでも兜飾りを見に行ったり、七夕飾りを見に行ったりした。運動会については、歌を用いて体を動かし、走る、投げるなどのジェスチャーで運動会を表現した。パネルやカードなどの教材にも多くの伝統文化の内容を取り入れ、保育室にいたながらも多くの日本の文化について知ることができた。 季節の移り変わりなどが顕著になる季節の中で屋外で過ごしやすい季節の事象(秋の紅葉、冬の落葉、春の芽吹き等)は屋外での活動も取り入れることができた。日常的に英語圏の文化として親しまれているもの(イースター、ハロウィン、クリスマス等)も無視はしないが、特に触れていくことはせず、日本文化に特化したレッスンは興味深かった。
-------------	--

計画時

6 環境構成	多目的スペースの確保。 日本文化、慣習、年中行事の案内パネル、カードなどの展示物。 活動の振り返りができるワークブックの準備。 カリキュラムに応じた具体物などの教材。 室内だけでなく、戸外での活動も積極的に行う。 <u>その他の園行事にも積極的に関わり合いを持つ。</u>
--------	---

事業後

6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 対象が年長児であったため、日本の文化や、慣習については基礎的な知識があったため、日本語と英語での表現の違いに興味関心を持っていた。バイリンガルの講師は臨機応変に日本語でのサポートもしてくれていたため、英語が全く分からず困ったり、活動に消極的になる園児はいなかった。十分な広さの保育室を確保できたため、教材を用いれば屋外での活動はなくても効果的であった。園行事への積極的な関わりについては、講師のいる日程は取り組むことができたが、その他の日の行事については他の教員が英語でかわりを持てるようにしていきたい。
-------------	---

7 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 昨今、習い事などで英語に親しむ子どもたちは増えているが、自分が生まれ育っている日本の伝統文化や慣習、年中行事について日本語で親しむだけでなく、英語での表現を知ることによって他者に対して日本のことについて伝えようとする意欲が芽生える。現代の欧米化した生活において、存在が薄くなっている日本の伝統文化を改めて知る機会になるとともに、<u>自分たちのルーツである日本とその身近な文化を大切にするという気持ちが芽生える。</u>幼少期に身につけたものは、やがて自身の常識となり、アイデンティティともなるとともに、次の世代へ伝えていくきっかけとなる。
事業後 7についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 進級当初から子どもたちは英語の時間をとても楽しみにしていた。日常の保育の中でも年中行事は積極的にかかわるため、カリキュラムも無理のない内容なので、楽しみながら英語や日本文化に触れていることができた。「月見団子って、英語だとdumplingっていうんだよ」などと日本語と英語での表現に親しむ姿も見られた。また年度が進むにつれて積み重なった知識もあるため、それを踏まえた応用もすることができた。「英語」「外国語」という構図がまだない段階での取り組みはとても良い。
8 効果検証 総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて どの園児でも楽しめるカリキュラムを組み立てていたため、外国語である英語に対しては、特に参加を嫌がったり、消極的な園児はいなかった。毎回の英語の時間を楽しみにする様子が見ええた。園内で講師に出会うたびに「Hello！○○」と声をかける姿が見られる。日本文化について英語で触れる内容なので、日本語でも英語でも無理なく触れることができる年長児を対象とするのは良かった。伝統文化だけでなく日常や生活に即した内容も多くあるので、どの子どもたちも楽しみながら取り組んでいる。「英語が勉強になる前に」日本語と英語の両方の言語を親しんでいきたい。